料金後納

ゆうメール

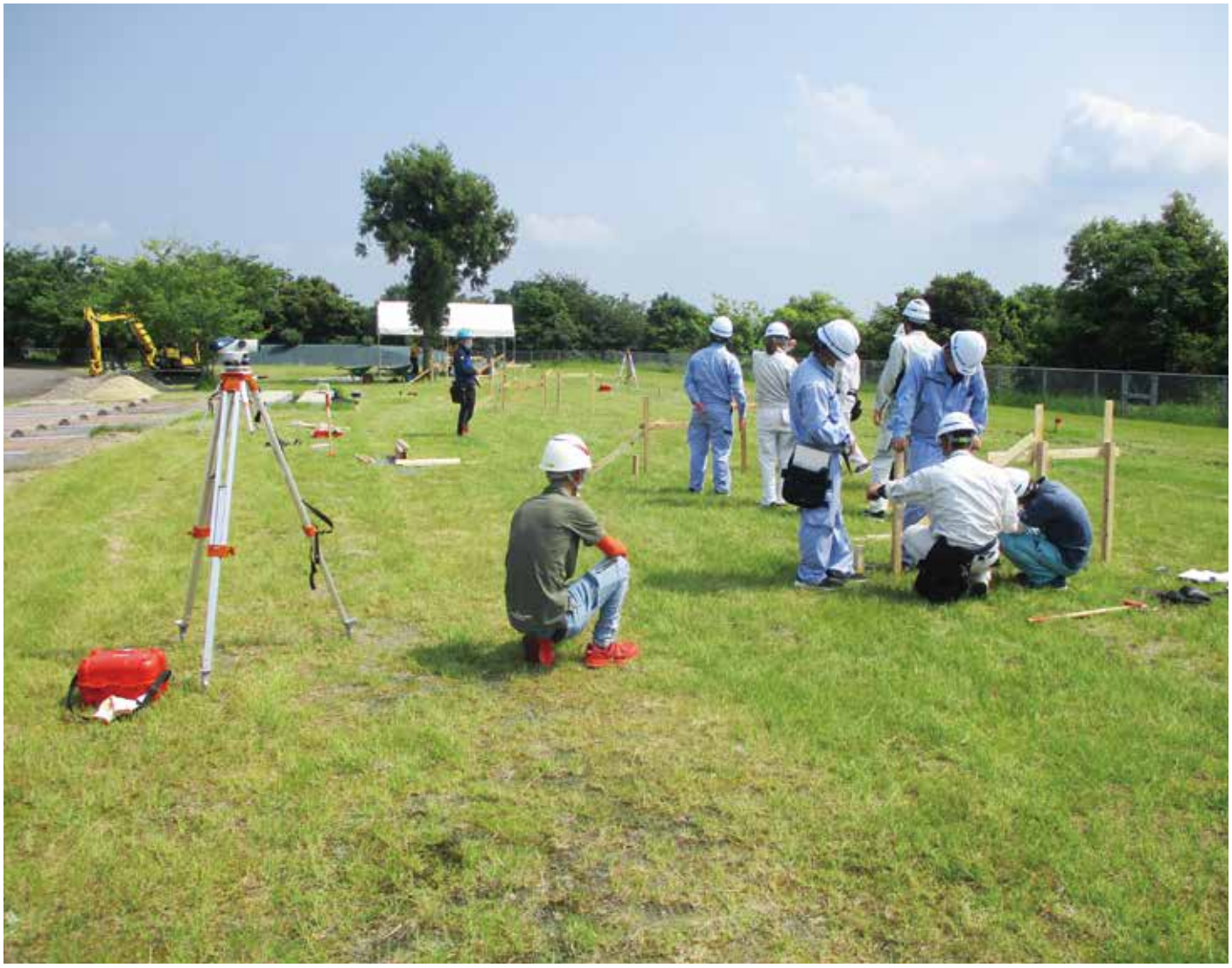
夏号

ナーク便り

内 容

2021.7

P2 ■災害応援協力支援
P3 ■市町橋梁点検支援
P4 ■ダム先生と行く土木路ウォーク
P6 ■開催報告
・土木施工管理基礎研修
・市町職員専門研修
P7 ■センター職員新規入職者紹介
■学習コーナー Q&A
P8 ■一般研修スケジュール（8月～11月）



令和3年度土木施工管理基礎研修　丁張の様子
詳細は、6頁に紹介しています。

（公財）長崎県建設技術研究センター
Nagasaki civil Engineering Research Center

愛称はナーク（NERC）です

災害応援協力支援

建設技術課

風水害、地震災害等自然災害発生時には、多数の被災箇所が予想され、災害査定など復旧業務に多くの人員が必要となります。さらに、早急に復旧するために業務の迅速さも求められます。

当センターでは、地方公共団体の人員不足等の問題に対応するため、長崎県内で発生した災害について、査定設計書作成や監督補助などの技術的な支援を行っています。

当センターの業務内容

①	査定設計書作成	設計成果を基に査定設計書を作成します。
	査　定	査定時に臨場し査定設計書の説明補助や修正作業を行います。
	実施設計書作成	査定後、工事を発注するための設計書を作成します。
②	監督補助	設計図書と施工状況等との照合を行い、結果を監督職員に報告します。
③	変更設計書作成	工事において変更が生じた場合に変更内容を反映した設計書を作成します。

※状況に応じてドローン等により被災状況の確認も行います。

支援の形態

業務単位支援　各業務単位で契約し業務を行います。

例）①実施設計書作成のみの業務

パッケージ支援　複数の業務を一括して契約し業務を行います。

例）①査定設計書作成～②監督補助～③変更設計書作成

この他、職員を派遣し、派遣先の指揮の下、災害復旧関係業務を行うことも可能です。

市町災害支援実績

市町名	実施年度	工　種	支援内容	件数
A市	R2～R3	道路復旧（地すべり）	積算（査定/実施設計書作成）、監督補助	3
B市	R2～R3	法面復旧	積算（実施設計書作成）、監督補助	4
	R2～R3	河川災害復旧	積算（実施設計書作成、変更設計書作成）、監督補助	52

お気軽に建設技術課までご相談ください。

監督補助業務

市町橋梁点検支援

建設技術課

平成25年6月の道路法改正を受け、定期点検に関する省令が定められ、平成26年7月から道路管理者は道路橋における点検を5年に1回の頻度で行うこととなりました。当センターでは、各市町が行う道路橋定期点検において、複数の市町分を一括してコンサルタントに発注する「市町橋梁点検一括発注支援」を実施しています。そのほか、橋梁点検に関する各種支援も積極的に行っています。

市町橋梁点検一括発注支援

市町が個別に発注する道路橋定期点検業務を当センターが代行することにより、以下のような効果を得ることができます。

【効果】

1．発注事務の負担軽減

点検業務の発注事務を代行することで市町職員の負担を大幅に軽減することができます。

2．統一性のある点検診断

コンサルタントが点検した結果を、当センターの有識者で構成する「健全度評価委員会」で審議し、統一性のある診断結果をご提供いたします。

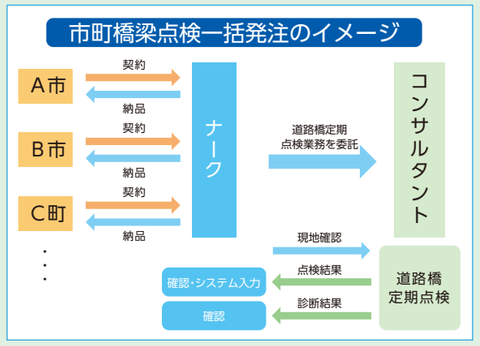
【健全度評価委員会の状況】

3．長年の実績を保有

定期点検が始まった平成26年度から実績を積み重ねているため、滞りなく業務を遂行できます。

過去５年間の実績

年　度	H28	H29	H30	R1	R2
市町数	12	12	11	11	12
橋梁数	641	733	574	354	480



その他の支援

「市町橋梁点検一括発注支援」以外にも橋梁点検に関するいろいろな支援を行っています。

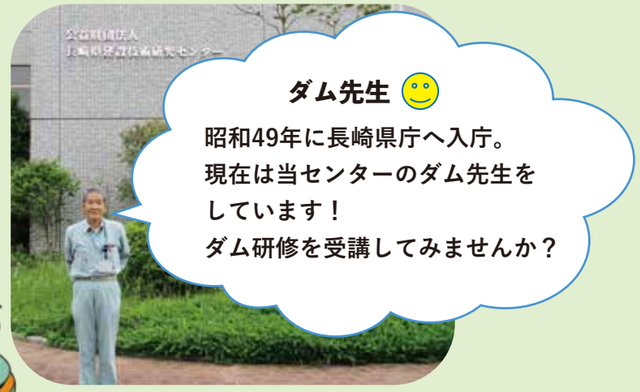
各市町の皆様が「困っていること」「悩んでいること」などございましたら、遠慮なくご相談ください。

●支援実績（令和２年度：３市町４件）

1．コンサルタントが行う定期点検の状況確認
2．コンサルタントが行った診断結果の確認
3．直営点検研修（システムの使い方、点検のやり方など）
4．橋梁の長寿命化計画の策定・更新の支援

ダム先生と行く土木路ウォーク

ダム先生と行く土木路ウォーク
第２回は、大村市にある
萱瀬（かやぜ）ダムに行ってきました！



ダム先生
昭和49年に長崎県庁へ入庁。
現在は当センターのダム先生をしています！
ダム研修を受講してみませんか？

萱瀬ダムってどんなダム？

長崎県と佐賀県の県境にそびえる多良岳を源とする二級河川郡川上流にあり、総貯水量6,810千㎥の多目的ダムです。

昭和37年に旧萱瀬ダム（ゲート付）が完成しましたが、数回の台風豪雨により、治水及び利水のためにかさ上げを行っています。

平成12年に完成し、現在の形となっています。

ダムサイト左岸から見た上流
貯水池と国道444号付近

ダムを見学する前に萱瀬ダム管理事務所の中を見せてもらいました。

萱瀬ダム記念碑

かさ上げ前の貴重な写真

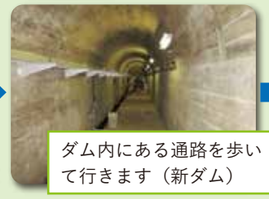
ダム管理室

※ダムの管理事務所内には、たくさんの管理に必要な設備がありました。小学校の現地見学会も実施されていました。

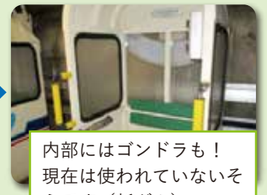
それではダム見学へ行ってみましょう！
今回はダム先生と一緒にダムの中を見学させてもらいました。

ダムの中って
どうなっているんだろう？

スタート！


ダム内にある通路を歩いて行きます（新ダム）

ダムの揚圧力を測ります


内部にはゴンドラも！
現在は使われていないそうです（新ダム）

さらに歩いていく・・・

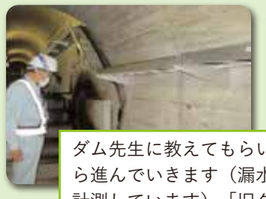
傾斜がすごい階段が！（新ダム）

階段を下って更にダムの内部へ進んでいきます

（旧ダム）

もうすぐダム堤体内最下部に到着します。

かさ上げ前と後の継目
貴重ですね（通廊最下部）


ダム先生に教えてもらいながら進んでいきます（漏水量を計測しています）「旧ダム」

出口に近づいてきました
ひたすら上っていきます・・・

到着！

ダムの命である水位計の説明も！
（正副あります）

萱瀬ダムの中を実際に歩いて見学するという貴重な体験ができました！

〈ダム下流〉

間近で見ると迫力がすごいですね

「ダム下流左岸側の河川護岸」
景観に配慮し整備されています

萱瀬ダム周辺環境

大橋公園

萱瀬ダム周辺にはダム下公園やダム運動公園、大橋公園があります。
ダム下公園には桜等が植えられており、大橋公園の湖面側には緩斜面の芝生広場があります。緑が豊かな公園です。

空気が気持ち良いよ！

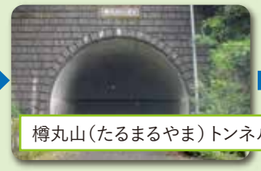
①孖（ふたご）橋

②子孖（こふたご）橋

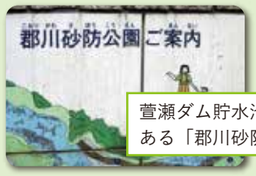
③店川（みせがわ）橋

④袈裟干（けさぼし）橋

⑤豆腐屋（とうふや）橋


樽丸山（たるまるやま）トンネル

⑥材木小屋（ざいもくごや）橋



萱瀬ダム貯水池上流にある「郡川砂防公園」

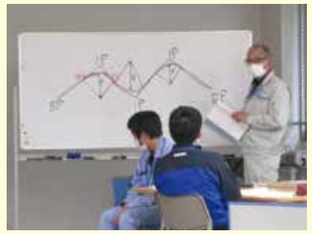
ダムの見学は、長崎県県央振興局建設部河港課河川班へ事前申込みが必要です。

こういった橋やトンネルを見つけながら土木路を歩くのも楽しいですね。
萱瀬ダム周辺は緑が豊かで素晴らしい景色が見られます。また、ダム湖上流には、郡川砂防公園があります。
心も体もリフレッシュできますので、皆さんぜひ足を運んでみてください。

開催報告

長崎県認定職業訓練　土木施工管理基礎研修

令和３年５月17日（月）に 土木施工管理基礎研修開始に先立ち、開講式を行いました。
９社から16名が受講しています。



土木施工管理基礎研修とは

建設業入職後の若年建設技術者（普通高校卒業者等）を対象として、土木施工管理に関する基本的な技術・技能を修得するための短期研修（約２ヶ月）です。

将来の現場管理者を育成するため、土木工事の概論、基礎力学、図面の見方、積算、施工計画、測量、施工管理、建設機械及び安全管理等について基本的な技術・技能の修得を行います。

研修受講生たちは、真剣に研修を受講し、頑張っています

市町職員専門研修

令和3年4月19日(月)～4月23日(金)に市町職員専門研修「土木初級（5日間）」を実施し、初任者市町職員を対象として、土木施工管理の基礎知識や測量等の講座を行いました。

また今後は、公共工事における会計検査での指摘事例と留意点を学ぶ「**会計検査と工事の指摘事項**」、建築工事の積算や、設計成果物のチェック方法などを学ぶ「**建築工事の積算**」、技術士第２次試験を例題として近年の取り組むべきテーマなどを学ぶ「**技術エキスパート**」などの研修を予定しています。

8月～12月　研修スケジュール

対象者(目安)		日程(日数)	場所	研修名
1～4年目	市町	10/7～8（2日間）	県南地区	現場技術
	市町	10/1（1日間）	NERC	建築工事の積算
5～10年目	市町	10/13（1日間）	県北地区	施工プロセスチェック
全職員	県・市町	8/3（1日間）	NERC	会計検査と工事の指摘事項
	市町	秋期（1日間）	長崎地区等	出前講座（講師派遣）
	県・市町	12/7（半日間）	NERC	技術エキスパート（導入編）

センター職員新規入職者紹介

よろしく
お願いします。

①抱負　②2ヶ月勤務して感じたこと　③趣味

技術部　建設技術課

宮脇技師
（大村市より出向）

①当センターのビジョンである、「困ったときはナーク、やっぱりナーク」と言われるように積算業務では、違算０を目指し職務を全うしていきます。
皆様よろしくお願いします。

②積算業務の内容は、とても難しいですが、周りの先輩方がしっかりとサポートしてくださるので、とても働きやすいと感じ、今後は諸先輩方に一歩でも近づけるように頑張っていきます。

③釣り（エギング）

松尾技師

①先輩方のご指導を頂きながら少しでも早く一人前の職員になれるよう努めてまいります。
よろしくお願いします。

②積算業務において、わからない工種や言葉がたくさんあり覚えることが大変ですが、自分で調べたり先輩方に聞いたりして知識を増やしていきたいと思います。

③ソフトボール

技術部　材料試験課

山瀬技師

①お客さまの満足と信頼を得られるよう業務に努めてまいります。
よろしくお願いいたします。

②材料試験課は業者の方が直接のお客様となるので、柔軟な対応を心がける必要があると感じています。

③体を動かすこと（走る）

総務部　総務課

森保主事

①一日でも早く仕事を覚え、信頼される職員になれるよう努めてまいります。
よろしくお願いいたします。

②様々な仕事を任せていただき、とてもやりがいを感じています。

③ランニング

学習コーナーQ&A

（技術部　技術支援室　TEL0957-54-1691）

建設業法が令和元年６月改正（令和２年10月から適用）されましたが、次の記述のうち誤っているのはどちらですか。

①監理技術者を専任で置く建設工事において、発注者から直接請け負った特定建設業者が、特例監理技術者を置く場合（監理技術者を複数の工事現場で兼務させる場合）には、技士補を当該工事現場ごとに専任で置かなければならない。

②特定専門工事（型枠及び鉄筋工事）において、元請等が置く主任技術者が、直接契約を締結した建設業者の下請の主任技術者の職務を行うことを、元請等及び当該下請が書面により合意した場合は、下請に主任技術者を置かなくてもよい。（対象工事…下請契約合計3,500万円未満）

解答は８頁へ

令和３年度　８月～11月　一般研修スケジュール

新型コロナウィルス感染症の予防対策として、座席間隔を広くとるとともに換気を行います。また、検温、マスク着用や手指消毒へのご協力をよろしくお願いします。なお、体調不良の方は受講を控えていただきますようお願いします。

日程（予定）		研　修　名	研修レベル
8月	8月26日（木）	土木技術者応用講座②　（対象：行政）	応用
	8月31日（火）	橋梁点検の方法と評価　～点検Aについて～	基礎～応用
9月	9月2日（木）	基礎工の設計・施工と地盤改良手法	基礎～応用
	9月7日（火）	コンクリートの基礎知識とひび割れ対策　～ひび割れの種類・要因に学ぶ～	基礎～応用
	9月14日（火）	地質データの読み方・使い方	基礎～応用
	9月28日（火）～29日（水）	スキルアップ基礎講座（新人・若手向け）（2日間）	基礎
	9月30日（木）	建築工事の積算演習	基礎
10月	10月5日（火）	ICT導入と活用	基礎～応用
	10月12日（火）	橋梁（コンクリート・鋼構造）の補修・補強　～長寿命化への取り組みについて～	基礎～応用
	10月14日（木）	知っておくべき地盤の調査と評価（地盤リスクの要因と低減方法）	基礎～応用
	10月14日（木）～15日（金）	無人航空機（ドローン）技能認定研修 ③（2日間）	基礎～応用
	10月26日（火）	基礎から学べる土木工事積算演習	基礎
	10月27日（水）	無人航空機（ドローン）③	基礎
11月	11月1日（月）～2日（火）	無人航空機（ドローン）技能認定研修 ④（2日間）	基礎～応用
	11月9日（火）	道路の計画・概略設計比較演習（行政・コンサルタント向け）	基礎～応用
	11月16日（火）	よくわかる港湾・漁港施設の設計の考え方（行政・コンサルタント向け）	基礎～応用
	11月25日（木）	CAD（ヴィーナス）～初級演習～	基礎

課　名	内　容	お問合せ先
企画情報課 （旧 企画研修課・情報課）	［企画研修班］研修、ドローン、研究、 コンストラクションマネジメント等 ［情報班］橋梁システム、電子保管等	［企画研修班］ TEL：0957（54）9630 ［情報班］ TEL：0957（54）1657
品質管理課 （旧 技術審査課）	土砂災害警戒区域、監督補助、ISO管理、重点橋梁点検等	TEL：0957（54）9634
技術支援室 （旧調査監室）	安全・安心パトロール、研修、建設技術の相談窓口 （現場の施工管理、関係法令等）	TEL：0957（54）1691
建設技術課	［積算班］積算、積算協議会等 ［維持管理班］橋梁点検支援等	［積算班］ TEL：0957（54）9631 ［維持管理班］ TEL：0957（54）9632
材料試験課	材料試験等	TEL：0957（54）3500

学習コーナーの答え　**正解：①**

★解説

建設業法第26条第３項では、発注者から直接建設工事を請け負った特定建設業者が、***監理技術者の職務を補佐する者（監理技術者補佐）***を当該工事現場に専任で置くときは、当該工事の監理技術者は他の工事を兼務することができます。

技士補は、監理技術者補佐の資格要件のひとつです。

（公財）長崎県建設技術研究センター

〒856-0026
長崎県大村市池田二丁目1311番3
TEL：0957（54）1600
FAX：0957（54）1505
https://www.nerc.or.jp